

# SYLLABUS ( 体育 )

単位数	3	履修学年	1年	履修学科	普通科・工業科
使用教科書	現代高等保健体育 (大修館書店)				
学習の目標	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。</p>		授業の概要	<p>全体で行う集団行動、準備運動を通して協力する態度や規律について学習し、基礎体力の向上を図る。                  種目選択では、その種目に対する個人的技能の向上やゲームを楽しむ態度を養うとともに、自己や仲間の課題を発見し、解決に向けて運動の取り組み方を工夫する姿勢を身に付ける。</p>	
学 習 計 画					
	項目及び内容		到達目標及び学習のポイント		
1 学期	<p>集団行動・体づくり運動                  球技選択Ⅰ (ソフトボール・バレーボール・バドミントン)                  キーワード                  ・キャッチボール・捕球動作・バッティング                  ・サーブ・レシーブ・パス・トス                  ・サーブ・ラリー・フットワーク</p> <p>理論</p>		<p>体づくり運動・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力の向上を図る。                  ソフトボール・投げる、捕る、打つ、走るなどの個人技能の習得を重視しゲームに活用する。                  バレーボール・簡易ゲームを中心に、個人技能と集団技能の両方を高める。                  バドミントン・ルールを理解させながら、個人技能の向上を図る。                  理論 スポーツの歴史、文化的特性やスポーツの特徴について理解する。</p>		
2 学期	<p>球技選択Ⅱ (サッカー・バスケット・バドミントン)                  キーワード                  ・パス・トラッピング・ドリブル・ヘディング・シュート                  ・パス・キャッチ・ドリブル・シュート・フットワーク                  ・サーブ・ラリー・フットワーク</p> <p>ダンス                  ガイヤ                  理論</p>		<p>サッカー・パス・トラッピング・ドリブル・ヘディング等個人技能の習得によりゲームを楽しむ。                  バスケット・パス・キャッチ・ドリブル・シュート等、個人技能を活用しゲームができる。                  バドミントン・ルールを理解させながら、個人技能の向上を図る。                  ダンス・リズムに乗って動くことで、踊る楽しさ(特性)や喜びを味わい、互いに共感しあう。                  理論 スポーツの歴史、文化的特性やスポーツの特徴について理解する。</p>		
3 学期	<p>陸上競技 (持久走)                  キーワード                  全身持久力・精神力・フォーム・ペース配分</p> <p>球技選択Ⅱ (サッカー・バスケット・バドミントン)                  キーワード                  ・パス・トラッピング・ドリブル・ヘディング・シュート                  ・パス・キャッチ・ドリブル・シュート・フットワーク                  ・サーブ・ラリー・フットワーク</p>		<p>陸上競技 (持久走)・安全に無理なく練習が進められるように個々に適正な目標を立てたり、より速く走るための効率のよいフォームの重要性や適切なペース配分などを理解し身に付ける。                  サッカー・パス・トラッピング・ドリブル・ヘディング等個人技能の習得によりゲームを楽しむ。                  バスケット・パス・キャッチ・ドリブル・シュート等、個人技能を活用しゲームができる。                  バドミントン・ルールを理解させながら、個人技能の向上を図る。</p>		
評 価	観 点	評価の観点の趣旨		評価項目	
	知識・技能	<p>運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。</p>		<p>・知識、技能                  ・活動に取り組む態度                  ・発表、グループ活動の発言</p>	
	思考・判断・表現	<p>生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>			
	主体的に学習に取り組む態度	<p>生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。</p>			
学習 アド バイス	<p>○授業の取組                  集団行動や集団走では、張りのある元気な声ときびきびとした態度で臨みましょう。                  また、各種目においては、知識や技能の獲得に向け粘り強く取り組み、自分やチームの技術向上のためにどうすればよいか考え、積極的に発表しましょう。</p> <p>○家庭学習 (予習・復習)                  前時での自分の課題を次時に活かせるよう調べておく。</p>				

# SYLLABUS ( 体育 )

単位数	2	履修学年	2年	履修学科	普通科・工業科
使用教科書	現代高等保健体育 (大修館書店)				
学習の目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。		授業の概要	全体で行う集団行動、準備運動を通して協力する態度や規律について学習し、基礎体力の向上を図る。 種目選択では、その種目に対する個人的技能の向上やゲームを楽しむ態度を養うとともに、自己や仲間の課題を発見し、解決に向けて運動の取り組み方を工夫する姿勢を身に付ける。 必履修科目	
学 習 計 画					
	項目及び内容			到達目標及び学習のポイント	
1学期	集団行動・体づくり運動 球技選択Ⅰ (ソフトボール・バレーボール・バドミントン) キーワード ・キャッチボール・捕球動作・バッティング・進塁 ・サーブ・レシーブ・パス・トス ・サーブ・ラリー・フットワーク  理論			体づくり運動・体を動かす楽しさや心地よさを味わい体力の向上を図る。 ソフトボール・投げる、捕る、打つ、走るなどの個人技能の習得を重視しゲームに活用する。 バレーボール・簡易ゲームを中心に、個人技能と集団技能の両方を高める。 バドミントン・ルールを理解させながら、個人技能の向上を図る。 理論 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。	
2学期	球技選択Ⅱ (サッカー・バスケット・バドミントン) キーワード ・パス・トラッピング・ドリブル・ヘディング・シュート ・パス・キャッチ・ドリブル・シュート・フットワーク ・ハイクリア・ドロップ・ドライブ・レシーブ  ダンス ガイヤ 理論			サッカー・パス・トラッピング・ドリブル・ヘディング等個人技能の習得によりゲームを楽しむ。 バスケット・パス・キャッチ・ドリブル・シュート等、個人技能を活用しゲームができる。 バドミントン・1学期に習得した個人技能を活用してシングルス・ダブルスのルールを理解しゲームを楽しむ。 ダンス・メリハリをつけて動きを創作し、踊りの楽しさ・喜びを互いに感じ合う。 理論 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。	
3学期	陸上競技 (持久走) キーワード 全身持久力・精神力・フォーム・ペース配分  球技選択Ⅱ (サッカー・バスケット・バドミントン) キーワード ・パス・トラッピング・ドリブル・ヘディング・シュート ・パス・キャッチ・ドリブル・シュート・フットワーク ・ハイクリア・ドロップ・ドライブ・レシーブ			陸上競技 (持久走)・安全に無理なく練習が進められるように、個々に適正な目標を立てたり、より早く走るための効率のよいフォームの重要性や適切なペース配分などを理解し身に付ける。 サッカー・パス・トラッピング・ドリブル・ヘディング等個人技能の習得によりゲームを楽しむ。 バスケット・パス・キャッチ・ドリブル・シュート等個人技能を活用しゲームができる。 バドミントン・個人的技能を活用し積極的にシングルス・ダブルスのゲームに取り組み、技術の向上を図る。	
評価	観点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。			・知識、技能 ・活動に取り組む態度 ・発表、グループ活動の発言
	思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。			
主体的に学習に取り組む態度	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。				
学習アドバイス	○授業の取組 集団行動や集団走では、張りのある元気な声ときびきびとした態度で臨みましょう。 また、各種目においては、知識や技能の獲得に向け粘り強く取り組み、自分やチームの技術向上のためどうすればよいか考え、積極的に発表しましょう。 ○家庭学習 (予習・復習) 前時での自分の課題を次時に活かせるよう調べておく。				



# SYLLABUS ( 体育 )

単位数	2	履修学年	3年	履修学科	普通科・工業科
使用教科書	現代高等保健体育 (大修館書店)				
学習の目標	<p>体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。</p>		授業の概要	<p>全体で行う集団行動、準備運動を通して協力する態度や規律について学習し、基礎体力の向上を図る。 種目選択では、その種目に対する個人的技能の向上やゲームを楽しむ態度を養うとともに、自己や仲間の課題を発見し、解決に向けて運動の取り組み方を工夫する姿勢を身に付ける。 必履修科目</p>	
学 習 計 画					
	項目及び内容			到達目標及び学習のポイント	
1 学期	<p>集団行動・体づくり運動 球技選択Ⅰ (ソフトボール・バレーボール・バドミントン) キーワード ・キャッチボール・捕球動作・バッティング・進塁 ・サーブ・レシーブ・パス・トス ・サーブ・ラリー・フットワーク</p> <p>理論</p>			<p>体づくり運動・体を動かす楽しさや心地よさを味わい体力の向上を図る。 ソフトボール・投げる、捕る、打つ、走るなどの個人技能の習得を重視しゲームに活用する。 バレーボール・簡易ゲームを中心に、個人技能と集団技能の両方を高める。 バドミントン・ルールを理解させながら、個人技能の向上を図る。 理論・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。</p>	
2 学期	<p>球技選択Ⅱ (サッカー・バスケット・バドミントン) キーワード ・パス・トラッピング・ドリブル・ヘディング・シュート ・パス・キャッチ・ドリブル・シュート・フットワーク ・ハイクリア・ドロップ・ドライブ・レシーブ</p> <p>ダンス ガイヤ</p> <p>理論</p>			<p>サッカー・パス・トラッピング・ドリブル・ヘディング等個人技能の習得によりゲームを楽しむ。 バスケット・パス・キャッチ・ドリブル・シュート等、個人技能を活用しゲームができる。 バドミントン・1学期に習得した個人技能を活用してシングルス・ダブルスのルールを理解しゲームを楽しむ。 ダンス・メリハリをつけて動きを創作し、踊りの楽しさ・喜びを互いに感じ合う。 理論・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。</p>	
3 学期	<p>陸上競技 (持久走) キーワード 全身持久力・精神力・フォーム・ペース配分</p> <p>球技選択Ⅱ (サッカー・バスケット・バドミントン) キーワード ・パス・トラッピング・ドリブル・ヘディング・シュート ・パス・キャッチ・ドリブル・シュート・フットワーク ・ハイクリア・ドロップ・ドライブ・レシーブ</p>			<p>陸上競技 (持久走)・安全に無理なく練習が進められるように、個々に適正な目標を立てたり、より早く走るための効率のよいフォームの重要性や適切なペース配分などを理解し身に付ける。 サッカー・パス・トラッピング・ドリブル・ヘディング等個人技能の習得によりゲームを楽しむ。 バスケット・パス・キャッチ・ドリブル・シュート等個人技能を活用しゲームができる。 バドミントン・個人的技能を活用し積極的にシングルス・ダブルスのゲームに取り組み、技術の向上を図る。</p>	
評 価	観 点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	<p>運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>知識、技能</li> <li>活動に取り組む態度</li> </ul>
	思考・判断・表現	<p>生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>発表、グループ活動の発言</li> </ul>
	主体的に学習に取り組む態度	<p>生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。</p>			
学習 アド バイス	<p>○授業の取組 集団行動や集団走では、張りのある元気な声ときびきびとした態度で臨みましょう。 また、各種目においては、知識や技能の獲得に向け粘り強く取り組み、自分やチームの技術向上のためにどうすればよいか考え、積極的に発表しましょう。</p> <p>○家庭学習 (予習・復習) 前時での自分の課題を次時に活かせるよう調べておく。</p>				



# SYLLABUS ( 保健 )

単位数	1	履修学年	1年	履修学科	普通科・工業科
使用教科書	現代高等保健体育 ( 大修館書店 )				
学習の目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育てる。		授業の概要	「教科書」と副教材「現代高等保健体育ノート」を中心に授業を行う。加えてICT機器の利用や調べ学習やロールプレイング、ディベートなど生徒が主体的に学習できるように実践内容を工夫し、理解の定着を目指す。  必履修科目	
学 習 計 画					
	項目及び内容			到達目標及び学習のポイント	
1学期	<b>1 現代社会と健康</b> (ア) 健康の考え方 (イ) 生活習慣病などの予防と回復  [キーワード] 平均寿命、ヘルスプロモーション、健康寿命、生活習慣病、一次予防、二次予防、がん、運動と健康			○現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく努力が重要であることを理解する。  ・様々な健康の考え方について理解する。 ・我が国の現在の健康問題について理解する。 ・生活習慣病を予防するための調和の取れた生活の実践ができる。	
2学期	(ウ) 喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 (エ) 精神疾患の予防回復 (オ) 現代の感染症とその予防  [キーワード] 喫煙、飲酒、薬物乱用、ストレス、心身相関、感染症、エイズ、欲求、意思決定・行動選択			・喫煙・飲酒・薬物乱用に関する適切な意志決定や行動選択ができる。 ・精神と身体の密接な関連を理解し、精神疾患を予防するための調和のとれた生活が実践できる。 ・エイズを含めた感染症の予防について理解する。 ・欲求や適応機制の様々な種類を理解する。 ・健康に関する適切な意志決定や行動選択ができる。	
3学期	<b>2 安全な社会生活</b> (ア) 安全な社会づくり (イ) 応急手当  [キーワード] 交通事故、人的要因と環境要因、危険予測と回避、責任、応急手当、AED、胸骨圧迫、直接圧迫放、RICE法、熱中症、心肺蘇生法			○安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当の適切な技能を身に付ける。 ・事故の実態について知り、人的要因と環境要因の関連について理解する。 ・自他の生命を尊重する態度及び交通環境の整備などが重要であることを理解する。 ・事故防止の取り組みや交通事故の3つの責任について理解する。 ・心肺蘇生法などの応急手当について正しい手順や方法の理解を深めるとともに、適切に行えるようにする。	
評価	観点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。			・定期考査 ・授業中の諸活動 保健ノート ワークシート グループ活動発言 課題学習 発表 ・技能 応急手当、 心肺蘇生
	思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。			
主体的に学習に取り組む態度	生涯と通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。				
学習アドバイス	○ <b>授業の取組</b> 保健の授業では、健康・安全に関する基礎的・基本的な内容を学習していきます。それぞれの年代に応じた健康課題をしっかりと認識し、適切に対処できるようにしていきましょう。毎時間の学習内容をよく理解し、ノートにまとめましょう。グループ学習などでは、課題意識を持ち積極的に発言をして行きましょう。 ○ <b>家庭学習 (予習・復習)</b> 家庭生活で学習内容を振り返り、自分の生活に学習成果を活用しよう。				

# SYLLABUS ( 保健 )

単位数	1	履修学年	2年	履修学科	普通科・工業科
使用教科書	現代高等保健体育 (大修館書店)				
学習の目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育てる。			授業の概要	「教科書」と副教材「現代高等保健体育ノート」を中心に授業を行う。加えてICT機器の利用や調べ学習やロールプレイング、ディベートなど生徒が主体的に学習できるように実践内容を工夫し、理解の定着を目指す。 必履修科目
学 習 計 画					
	項目及び内容			到達目標及び学習のポイント	
1 学期	3 生涯を通じる健康 (ア) 思春期・青年期と健康 (イ) 中高年期と健康			<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯を通じる健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、生涯を通じる健康について理解を深める。</li> <li>思春期における心身の発達に伴い、健康課題が生じることがあることを理解する。</li> <li>結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動を理解する。</li> <li>中高年期の疾病や事故のリスク軽減のための個人取り組みと社会的対策を評価する。</li> </ul>	
2 学期	(ウ) 働くことと健康  4 健康を支える環境づくり (ア) 環境汚染とその対策 (イ) 食品の安全性			<ul style="list-style-type: none"> <li>働く人の健康の保持増進について、習得した知識を基に、生活の質の向上を図ることに関連付けて、課題解決の方法に応用する。</li> <li>健康を支える環境づくりについて、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、健康を支える環境づくりについて理解を深める。</li> <li>人間の生活や産業活動などによって引き起こされる自然環境汚染について事例を通して整理し、疾病等のリスクを軽減するために環境汚染の防止や改善の方策に応用する。</li> <li>食品の安全性と食品衛生にかかわる活動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増進するための計画を立てる。</li> </ul>	
3 学期	(ウ) 保健・医療サービスとその活用  (エ) 保健活動と社会的対策			<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の保健・医療機関やスポーツ施設の活用の仕方について、関連した情報を整理し、生活の質の向上に向けた課題解決に応用する。</li> <li>ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりへ積極的に参加していくために、適切な情報を選択・収集して、分析・評価し計画を立てる。</li> </ul>	
評 価	観 点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けている。			<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査</li> <li>授業中の諸活動 保健ノート ワークシート グループ活動発言 課題学習 発表</li> </ul>
	思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他社に伝えている。			
主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。				
学習 ガイ ド バ イ ス	<p>○授業の取組 保健の授業では、健康・安全に関する基礎的・基本的な内容を学習していきます。それぞれの年代に応じた健康課題をしっかりと認識し、適切に対処できるようにしていきましょう。毎時間の学習内容をよく理解し、ノートにまとめましょう。グループ学習などでは、課題意識を持ち積極的に発言をして行きましょう。</p> <p>○家庭学習 (予習・復習) 家庭生活中で学習内容を振り返り、自分の生活に学習成果を活用しよう。</p>				